



芙蓉

教育目標「立志・鍛錬・協調」

令和7年度 卒業式 校長式辞

校長 木村 知広

爽やかな春の息吹が感じられる今日の佳き日に、板橋区 副区長 尾科 善彦 様、板橋区議会議員 実正 やすゆき 様、田中 やすのり 様、近藤 タカヒロ 様はじめ、本校PTA会長、CS委員の皆様、地域の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、東京都板橋区立赤塚第二中学校 令和七年度 卒業式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。



保護者の皆様、お子さまのご卒業、心よりお祝い申し上げます。義務教育修了の今日に至るまで、深い愛情をもってお子さまを育ててこられた日々の想いに深く敬意を表しますとともに、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、ただ今卒業証書を授与いたしました、184名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝いいたします。

卒業式に臨んでいる今、皆さんの脳裏にはどのような思い出がよぎっているのでしょうか。皆さんが歩んだ3年間を振り返ると、決して平坦な道のりばかりではありませんでした。しかし、困難な状況の中にあっても、皆さんは仲間や家族、先生方と協力し合い、前を向き、諦めずに努力を続けてきました。その姿は、本校に新たな伝統を創り、後輩たちへ良き手本を背中を示してくれました。

大きく成長した皆さんの姿は、校長として深い感謝の念に堪えないと同時に、私たち教職員の誇りでもあります。皆さん、本当によく頑張りました。そして、ありがとうございました。

大変名残惜しいですが、いよいよ未来へ羽ばたく門出の日を迎えました。

これから皆さんが生きていくのは、グローバル化や AI(人工知能)などの技術革新がさらに進み、予測困難な社会になると言われています。AI は今後さらに進化し、社会のあらゆる場面で私たちの生活をより便利に、効率的なものにしていくことでしょう。そのような未来社会の中で、様々な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くために、皆さんに大切にしてほしいことがあります。

今後 AI がどれほど進化し、膨大な知識を持ち、複雑な計算を一瞬でこなせるようになっていっても、決して AI にはできないことです。それは、「心で感じること」です。美しい景色を見て感動すること。友人の悲しみに寄り添い、共に涙を流すこと。誰かを助けたいという優しい思いやりを持つこと。そして、困難の中でも仲間と協力し、新しいものを創り出すこと。これらはすべて、血の通った私たち「人間」にしかできない、素晴らしい力です。AI という便利なものが当たり前になる社会だからこそ、この「人間らしさ」が今まで以上に大切になってきます。

世界中で読み継がれている物語、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』に、次のような言葉があります。

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ。」

AI は、目に見えるデータや数字を分析することは得意です。しかし、人の優しさや、努力の過程、言葉の裏にある本当の気持ちといった「目に見えないかんじんなこと」は、決してデータでは測れません。これから先、ただ一つの正解がない問題に直面したときは、どうか皆さん自身の「心」を大切にしてください。自分の心を信じ、他者の心を思いやる。その「人間らしさ」こそが、変化の激しい未来を切り拓く、最も強力なコンパスとなるはずですよ。

卒業生の皆さん。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。AI という道具を賢く使いこなしながらも、決して自分自身の「心」を見失わないでください。そして、この赤塚第二中学校で学んだ「集団美」や、「自律と協働」の精神を胸に、温かく人間らしい魅力にあふれた人へと成長し、それぞれが思い描く幸せを実現していくことを、私は強く願っています。

結びに、人生の節目においては、支えてくださった方々へ感謝の気持ちを形に表すことが大切です。今日家に帰ったら、一番身近で皆さんを支え、励まし続けてくれた保護者の方の両手を取り、ぜひ自分の言葉で感謝を伝えてください。その手からは、皆さんのために注がれてきた十五年分の深い愛情が伝わってくるはずですよ。今日という日を迎えられた喜びを噛み締めながら、しっかりと「ありがとう」を伝えてください。

そして明日からは、自分の思い描く幸せを実現させるため、勇気をもって第一歩を踏み出していきましょう。皆さんのこれからの人生が、豊かで、笑顔あふれる素晴らしいものになることを心から祈念いたしまして、式辞といたします。

令和八年三月十九日 東京都板橋区立赤塚第二中学校 校長 木村 知広

生徒の活躍

○令和7年度体育優良生徒表彰

